

上小だより

令和8年5月14日
文責 校長 山本祥博

学校教育目標

「未来を切り拓く上っ子の育成～挑戦・協力・自律～」

見えない誰かの支えがあふれています

登校してくる子供達の装いも半袖に移り、ほほを流れる汗に、猛暑の季節を感じる5月半ばを迎えました。

昨日、今日と体カテストを実施しました。先週から、大柿先生、白石先生でグラウンドにラインを引き、万全の準備をしていましたが、一昨日夜の突然の雨により、ラインも消え、立ち幅跳びで使用する砂場も硬くなっていました。早朝から、数名の職員で再度計測し、ラインを引き、砂場の掘り起こしをしていたところ、登校後、その姿に気づいた5年生、6年生がすぐに手伝ってくれました。おかげで準備も間に合い、怪我することもなく安全に体力測定を終えることができました。また、体カテスト時には、6年生は1年生の、5年生は2年生の手を取り、手本を示し、優しく導いてくれました。一人一人の体力の現在地や昨年からの伸びを知るとともに、多くの人のおたくさんの思いやりの心が見られた2日間でした。



全役員会大変お世話になりました

5月7日19時から体育館で今年度のPTA全役員会が開かれました。

山富会長の挨拶の後、各委員会や学年部ごとに分かれ、委員長・副委員長決め、今年度の活動計画について話し合われました。PTA活動の目的に「未来を担う子供たちの幸せ」を願い、児童の健全な育成とよりよい保護者、よりよい教職員たりうるよう研鑽することとあります。各部会で顔を合わせ、笑顔で自己紹介をし、明るく、時には笑いながら話をされる姿に上小の子供たちを支えるつながり、力の強さを感じました。昨年もお伝えしましたが、保護者同士のつながりは、子供にとっても自分自身にとっても財産となります。「小さい労力で大きな効果」「やれることをできたしこ」「どうせやるなら楽しく前向きに」これがPTA活動に対する私のモットーです。親のがんばる姿を子供たちは必ず見えています。お忙しい中に参加していただいた役員の皆様、大変お世話になりました。広がる「支え合いの輪」に感謝いたします。ありがとうございました。



※学校HPにはカラーで掲載しています。どうぞご覧ください。